

第9回認知症医療介護推進フォーラム シンポジウム 1：パンデミック、災害時における共生

コロナ禍で共に生きる工夫とチャレンジ

一般社団法人 日本認知症本人ワーキンググループ
代表理事 藤田 和子

1961年生まれ、鳥取市在住

看護師として15年勤務、認知症の義母を9年間介護した経験を持ち、2007年7月、若年性アルツハイマー病と診断された後、地元の鳥取市で認知症の本人としての発信を始め、現在、一般社団法人日本認知症本人ワーキンググループの代表理事。

地元、鳥取市で、「認知症になってからも自分らしい暮らしを考えるサロン」や本人同士がともに語り合う「本人ミーティング」、「おれんじドアとっとり」の本人相談員として活動。

2020年1月20日、厚生労働省から認知症本人大使「希望大使」に任命される。

2021年6月7日、鳥取市から鳥取市認知症本人大使「希望大使」に任命される。

日本認知症本人ワーキンググループとは

日本認知症本人ワーキンググループ（JDWG）は、「認知症になってからも希望と尊厳を持って暮らすことのできる社会」を創り出すことを目的に活動を展開しています。



私たち認知症のある本人と、本人の活動目的に賛同されたパートナーの皆さんが、認知症の本人の「本人だからこそその経験・体験からの声」を発信して、ともによりよく暮らすことのできる社会を創り出すことにチャレンジしています。

認知症とともに生きる

地元・鳥取で、仲間と取り組んできたこと

公民館サロン

「認知症になっても自分らしく暮らし続けていく」ことを地域の人みんなで、考えてみるための集い。



本人ミーティング

地元鳥取市で、市の保健師さん、認知症地域推進員、認知症の人と家族の会鳥取支部のメンバー、県庁の方々などと、2か月に1度開催。



相談員は、本人

おれんじドアとっとり

認知症の当事者同士の出会いを大切にし、本人にとってよい情報を伝えあい、認知症とともに新たな暮らしをスタートできる入口となる場所です。
(毎月、第4木曜日に開催)



認知症とともに生きる

さらに、いま・・・

みなさんと同じように、
対策と工夫をしながら、

「つながり続けること」

「新しい出会い」

「認知症とともに生きること」

にチャレンジをしています。

みんなで 話しあいながら これまでの取組みを 続けています

身近なところは、感染対策を
万全にしながらリアルで集まり、
それをオンラインでつないで
本人ミーティングを実施

リアルとオンラインを組み合わせた
地元の本人ミーティング



- ・「本人ミーティングを続けたい」の本人の思いから、どうしたら出来るかを、**諦めずに、本人と一緒に考えた。**
→本人も元気になった。お互いに元気をチャージ。
- ・コロナで出来なくなったこともあるが、**コロナだからこそZOOMにチャレンジできた。仲間も増えた。**

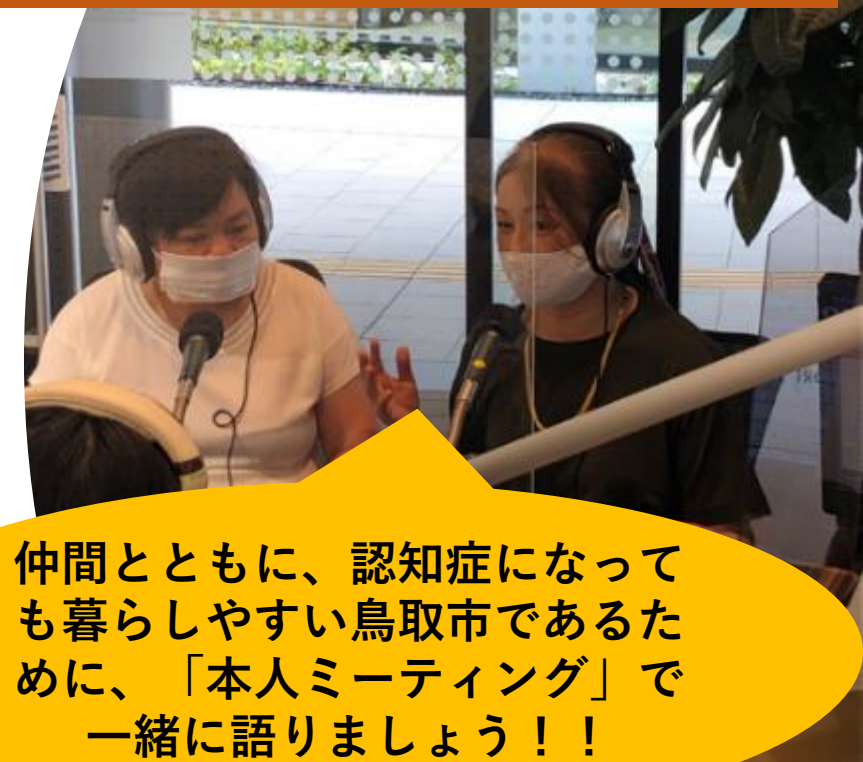
新たな チャレンジも 生まれています

これまでとは違う環境、暮らし方になって、新しい
つながりや仲間が生まれました。

そのつながりや仲間とともに、私たちは、「認知症
とともに生きる人」として、発信を続けています。

地元のFM

「来ました！鳥取の元気人コーナー」で
認知症本人ミーティングを生放送！



仲間とともに、認知症になっ
ても暮らしやすい鳥取市であるた
めに、「本人ミーティング」で
一緒に語りましょう！！

第2回は
「相方」が大活躍！

※令和2年度に続き、
令和3年度アルツハイマー月間にラジオ出演



地元の医師会と新たな形で協働

周囲の取組も変化。

さまざまな協働を通して、発信を続けています。



「鳥取県東部医師会在宅医療介護連携推進室」
Youtubeチャンネルから



私たち二人は、

鳥取市から鳥取市認知症本人大使
「希望大使」に任命されました。

地元の仲間とともに活動しています。

世界アルツハイマー
デー記念イベント
「オレンジ列車に
乗ろう！」

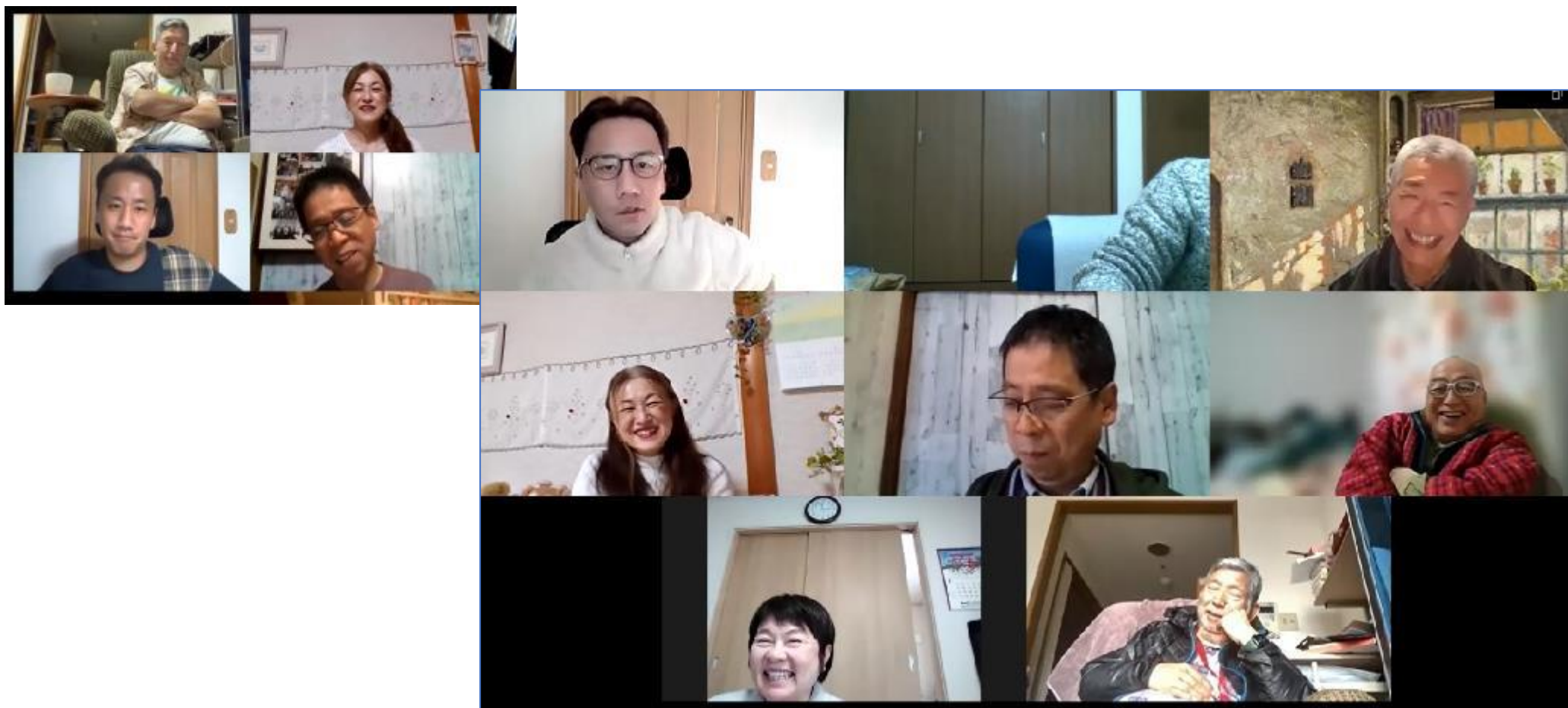


市報で対談



各地の仲間とオンラインで集まってみよう

JDWGの本人の仲間たちで、お互いの近況を伝えあう「JDWGの仲間とオンラインで集まってみよう！」を企画し、月1回集まっています



「遠くに住む、普段会えない人と
オンラインなら、家にいながら気軽に会える！」

認知症とともに生きる希望宣言

一般社団法人 日本認知症本人ワーキンググループ

認知症とともに生きる希望宣言

1

自分自身がとらわれている常識の殻を破り、
前を向いて生きていきます。

2

自分の力を活かして、大切にしたい暮らしを続け、
社会の一員として、楽しみながらチャレンジしていきます。

3

私たち本人同士が、出会い、つながり、
生きる力をわき立たせ、元気に暮らしていきます。

4

自分の思いや希望を伝えながら、味方になってくれる人たちを、
身近なまちで見つけ、一緒に歩んでいきます。

5

認知症とともに生きている体験や工夫を活かし、
暮らしやすいわがまちを一緒につくっていきます。

「認知症とともに生きる希望宣言」は、私たち認知症とともに暮らす本人一人ひとりが、体験と思いを言葉にし、それらを寄せ合い、重ね合わせる中で、生まれたものです。

今とこれからを生きていくために、一人でも多くの人に一緒に宣言をしてほしいと思っています。



● 本人が本人へ伝える



● 本人同士で語りあう



● 本人が、身近な友達や地域の人たちへ



● 地域の人同士が、地域の住民や様々な立場の人へ



● 行政や医療・介護 専門職が本人へ、家族や市民へ配布、



● 「希望宣言」を活かし、本人が参画して条例をつくる。

私たちは今、「希望宣言」を全国各地に届ける「希望のリレー」を様々な人と、一緒に進めています。

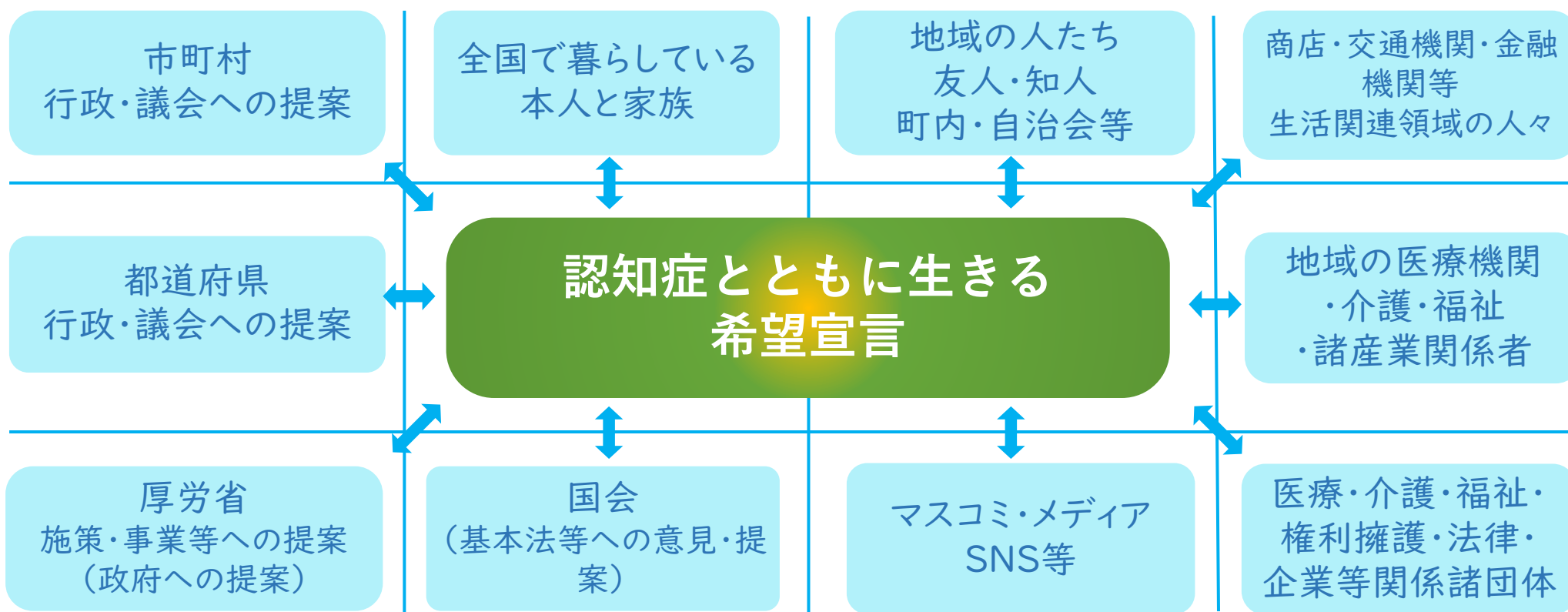
認知症とともに生きる希望宣言

1. 自分自身がとらわれている常識の殻を破り、前を向いて生きていきます。
2. 自分の力を活かして、大切にしたい暮らしを続け、社会の一員として、楽しみながらチャレンジしていきます。
3. 私たち本人同士が、出会い、つながり、生きる力をわき立たせ、元気に暮らしていきます。
4. 自分の思いや希望を伝えながら、味方になってくれる人たちを、身近なまちで見つけ、一緒に歩いていきます。
5. 認知症とともに生きている体験や工夫を活かし、暮らしやすいわがまちを、一緒につくっていきます。

日本認知症本人ワーキンググループが進めている

「希望のリレー」活動

全国各地で、様々な方法で、様々なカタチで、
様々な領域へ、「希望のリレー」が始まっています。
みなさんも、一緒に。



日本認知症本人ワーキンググループの活動については、ホームページをご参照ください。

<http://www.jdwg.org/>